



2019年4月入職  
看護師 Mさん

入職してから3ヵ月間を振り返り、患者さんに「看護師さん」と呼ばれ会話をする中で、自分が茨木病院の看護師として責任を持って関わらなくてはいけないと感じました。他のスタッフがどんな時にも患者さんに対して優しい言葉遣いで対応し、話を聞くときときに目線を合わせている姿を見て自分もそうなりたいと思いました。

また、採血や注射は実際の人に対して練習したことがなかったため、先輩方にも協力してもらいながら練習しました。入職する以前は針を刺すことが怖く、自分にはできないだろうと感じていましたが、練習を重ねる中で少しずつ落ち着いて実施できるようになりました。採血や注射だけではなく浣腸や導尿なども練習する機会を多く与えてくれたため、以前よりも技術が身についていると感じました。練習する機会をくれたスタッフや実施するのを承諾してくれた患者さんへの感謝の気持ちと、より高い技術を身につけたいという思いを感じています。

患者さんに関わって、異常時の見極めと対応がわからないことや、悩みを聞いてどのように答えたらよいかかわからない事があり、自分の知識やコミュニケーション技術が足りていないと感じることがあります。今後、様々な患者さんに関わり学習しながら、患者さんの心身共に支えることができ、信頼してもらえるような看護師になりたいです。そして、患者さん自身が理想とする生活ができるように支えていきたいです。



2019年4月入職  
看護師 Tさん

私が配属された病棟は、精神疾患に合わせて身体疾患を持つ高齢者の方が多い療養病棟です。長期で入院されている方が多いため、入職当初は患者さんが私に病棟の事を教えてくださいとあった事がありました。先輩方には私がわからないことを丁寧に教えてください、私のペースを大切にしてください。このような環境であることから慌てることが少なく、安心して仕事が行えていると感じています。

現在3カ月が経過し、患者さんが私を覚えてくださったことでコミュニケーションやケアを行いやすくなりました。しかし、興奮している方や大声を出されている方への距離感や声かけを難しいと感じてしまい、関わりに躊躇してしまうことがあります。そんな時先輩方は私と患者さんとの間に入ってくださり、私が関わりやすくなるように対応して下さるので、甘えながらも対応の仕方を学ばせていただいています。いつかは先輩方のように、様々な状態にある患者さんにも関わっていけるようになりたいです。

また、自分の力不足を痛感することが多いので、自己学習を行いながら、自分の出来ることを少しずつ増やしていけるようにしていこうと思います。



2019年4月入職  
看護師 Gさん

現在入職して3カ月たちました。業務を行っていくうちに自分自身の様々な課題が見つかりました。課題と向き合い、また先輩方の丁寧なご指導もあり、ひとつひとつの課題への対策を考え実行しています。

また患者さんと関わることで学びもたくさんあります。普段よくルールを破ったり、会話をしているにもかかわらず自己中心的な発言が多く、自分勝手な方だと思っていた患者さんがいます。その方に将棋に誘われて将棋をしたことがあります。その時は優しく丁寧に将棋を教えていただき優しく、人を思いやる一面を知れました。今まで自分自身が思っていたこととは別の面もあり一面だけで決めつけるのではなく様々な方面から見る、悪いところばかり見るのではなく良いところ、強みを見ていくことが大切だと学びました。

今は日々の業務に追われて精一杯でわからないこと、できないこともたくさんありますが、早く業務になれ、出来ることを増やしていき患者さんから信頼される看護師になれるように日々努力していきます。